

拝啓

私は（一社）全日本空手道連盟・和道会（JKF 和道会） 総本部技術委員長の志村耕一と申します。和道会は現在、日本・海外を合わせて約 85 万人超の会員を擁し世界に誇れる空手界でも有数の空手団体の一つです。

この機会を得まして、JKF 和道会が空手を日本の武道文化として後生に伝承する為にどの様に指導。稽古をしているかをご説明いたします。まず、和道空手は基本稽古から始まり、そして形、基本組手、自由組手に発展していきます。この反復稽古により、身体機能のバランスが育まれ、柔軟でかつ機敏な反応能力そして持久力が養われます、それに伴い精神の強化にも繋がって行くと思います。又空手の稽古を通して、空手の講師や同じ仲間の会員同士の友情と尊敬そして責任感が育まれています。

ドイツ連邦国で生活されている日本人会員の皆様が、地元ハンブルクの皆様と一緒に日本の武道空手を稽古することは、空手を通してお互いに理解し合える素晴らしい文化交流になると思います。幸い、当地ハンブルクには JKF 和道会五段位、指導員三級の資格を保持する、Mr Helge Mueller がいます、私の弟子である彼は現在当地で JKF 和道会 荒川道場ハンブルク(Arakawa Dōjō Hamburg) 支部の指導者として活躍しています。又彼は日本語も堪能で、稽古における言葉の問題は全く無いと言っても過言ではありません。さらに彼の空手経歴の中で 2018 に英国のレスターで開催されたオールネイション空手道大会に於いて形競技マスターの部で金メダルを獲得しました。彼の空手指導は理詰めで日本人である私でも感心しています。空手の稽古を希望する日本人の方々、その他国籍に関係なく空手を学びたい方々に是非、彼のもとで稽古をされることを切望いたします。

空手荒川道場ハンブルク(Arakawa Dōjō Hamburg) 支部は入門には年齢制限はなく大人も子供一緒に稽古できます、興味のある方は以下のメールアドレスにご連絡ください。恐れ入りますが、出来れば日本人の皆様や関係者にご紹介頂けたら幸甚です。

（一社）全日本空手道連盟和道会 総本部技術委員長 志村耕一

敬具